

事務事業名		後期高齢者医療広域連合納付金					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	長寿医療係	担当課長名	片柳 利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 後期高齢者医療制度の円滑な運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	20711	後期特会	2	1	1	後期高齢者医療広域連合納付金					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～ 年度		根拠法令 条例等	高齢者の医療の確保に関する法律、栃木県後期高齢者医療広域連合規約					
	任意の事業・義務的事业業						義務的事业業				
	実施方法						直営				
事業分類						その他内部事務事業					
リーディングプロジェクト						該当なし					
市長マニフェスト						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
○ 後期高齢者医療制度は、県広域連合が保険者となり、保険料の決定や医療の給付などを行い、市は、保険料の徴収、申請や届け出、保険証交付などを行っている。 ○ 市で徴収した保険料、さらに低所得者に対する保険料の軽減分について、県支出金と市の持ち出しを合算して、県広域連合に納付をするものである。	○ 被保険者が納付した保険料(特別徴収・普通徴収)及び保険料基盤安定制度負担金を広域連合へ納付するものである。 19節 負担金、補助及び交付金1,123,247千円。					
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)
後期高齢者医療被保険者(4/1)	人	16,160	16,276	16,359		
保険料軽減対象者(基盤安定者数)	人	10,402	11,158	11,159		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

○ 広域連合へ支出する、後期高齢者医療広域連合納付金である。	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	保険料額	千円	843,419	843,663	840,129		
保険基盤安定負担金	千円	253,529	279,584	287,609			

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

○ 保険料収納を確実に実施、栃木県後期高齢者医療広域連合へ納付することで、事業の基盤を安定させ、後期高齢者医療制度の円滑な運営を推進するものである。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	後期高齢者医療保険料収納率	%	99.6	99.6	99.4		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

○ 75歳以上の高齢者が健康づくりと疾病予防ができるとともに、安心して医療を受けられる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	後期高齢者医療保険料収納率	%	99.6	99.6	99.4	99.4	99.4
後期高齢者健康診査受診率	%	15.7	16.5	16.0	17.0	18.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	1,096,949	1,123,247	1,127,738				
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	1,096,949	1,123,247	1,127,738	0	0		
	事業費の内訳	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		負担金	1,096,949	負担金	1,123,247	負担金	1,127,738		
	人件費	人	1	1	1				
のべ業務時間	時間	400	400	400					
人件費計(B)	千円	1,556	1,576	1,576	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,098,505	1,124,823	1,129,314	0	0			

事務事業名	後期高齢者医療広域連合納付金	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	長寿医療係
-------	----------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	○ 平成20年4月から、それまでの老人医療制度に替わるものとして、後期高齢者医療制度が開始された。運営主体は、栃木県後期高齢者医療広域連合であり、本市は、他市町と共に構成市町となったものである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	○ 各種メディアによって、昭和21年度生まれが75歳となる、平成33年度からは、所謂、団塊の世代が被保険者となるため、制度の大幅な拡充が必要とされ、社会保障全体の財源確保が一層困難になるものであるとの推計が、報道されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	○ 例え、社会的な弱者であっても、十全な医療を受けることができるよう、担当にある者は、配慮をお願いしたい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 ○ 後期高齢者医療制度を運営していくうえで、後期高齢者医療広域連合納付金事務は、必要不可欠なものであり、合致しているものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 ○ 後期高齢者医療制度を運営していくうえで、後期高齢者医療広域連合納付金事務は、必要不可欠なものであり、合致しているものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 ○ 当該事業については、納付金の性格と後期高齢者医療制度との関連に尽きるものである。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 ○ 事業開始後7年を経過し一定の成果は達成しつつあるが、増加する後期高齢者に、限られた予算で執行するので成果を向上することは、行政だけでは困難で、被保険者の方に理解をいただかねばならない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 収納した保険料や保険基盤安定制度の負担金を広域連合へ納めるものであり、また、人件費も最低の1名にて対応しているもので、削減はできないものである。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
受益者負担を求める必要がない		理由・改善案 ○ 内部事務事業であり、保険料を除いて、受益者負担には、馴染まない。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
○ 法令に定めがあるため、法改正、または新たな健康保険制度に移行しない限り、継続となるものである。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			